

UC-1 BIM/CIMツール NEW

BIM/CIM対応の3D統合モデルを作成

プログラム価格
¥193,600
(税抜 ¥180,000)

Windows 10/11 対応

本製品は、新たに作成した3Dモデルや既存の3Dモデルを設置した統合モデルを作成することができます。これらを閲覧しながら、構造物の配置、計算書等の関連情報の確認に活用することができます。

【プログラム概要】

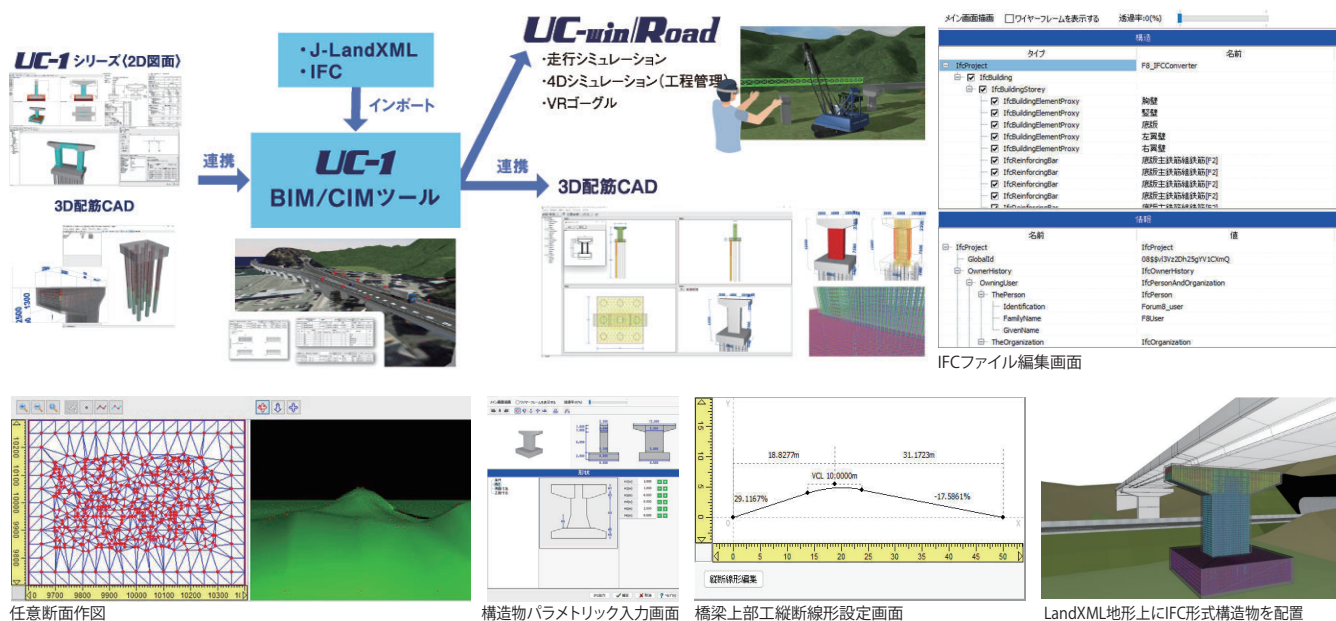
- パラメトリック入力による上部工・下部工・土工構造物の3Dモデル作成、縦断線形設定、配置
- 設計計算書、図面、写真、UC-1 シリーズ設計データ等々のリンク機能構造物の新規入力・編集
- 構造物の任意断面表示、距離・面積・体積表示機能
- IFCファイルインポート・エクスポート、属性情報の表示機能

- LandXML インポート・エクスポート、地形編集機能

- パラメトリック、IFC、LandXML 統合モデルのエクスポート機能

【構造物の新規入力】

- 橋梁下部工：ラーメン式橋脚・橋脚・逆T式橋台・重力式橋台
- 道路土工：逆T型擁壁・L型擁壁・BOXカルバート
- 橋梁上部工：箱桁・中空床版・T桁・合成桁・鋼橋箱桁・鋼橋I桁



UC-Draw 3DCAD NEW

CIMの3DモデリングをサポートするDWG連携ツール。
土木専用3次元CADエンジンを採用した3Dモデリングソフトウェア

3D配筋対応

プログラム価格
¥99,000
(税抜 ¥90,000)

Windows 10/11 対応

電子納品 SKF3.1

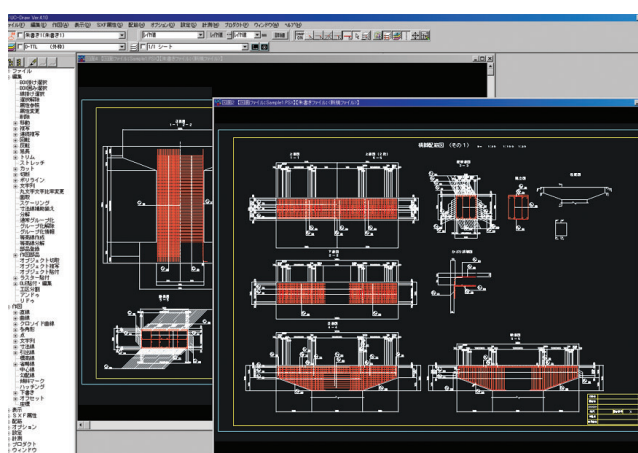
汎用CADであると同時にさまざまなオプション機能を備えた、土木専用の2次元CADソフトウェアです。土木図形作図コマンド、計算機能のある鉄筋表生成、帯表、柱状図作成、線形変換機能などを備え、土木汎用CADとして、強力に威力を発揮します。UC-1設計シリーズ、UC-Drawツールズと連携し、土木製図をトータルにサポートします。

- 効率的な図面作成／柔軟な図面編集:「UC-1設計シリーズ」や「UC-Drawツールズ」により自動生成された図面の加筆・修正、柔軟かつ効率的に図面を作成
- 土木に特化した作図コマンド:「寸法線」・「引出線」・「クロソイド曲線」・「標高線」・「省略線」・「勾配線」・「傾斜マーク」等の専用コマンドを用意
- SXFVer2.0、Ver3.1(レベル2)、DXF、DWG、JWC、JWW形式の入出力をサポート
- CADデータ同一性判別コンポーネント「Logical Smart」を使用したSXF論理検証を実装、SXFファイルの違いを抽出し、図面上で異なる箇所を確認が可能
- 2Dオブジェクト→3Dオブジェクト、3Dオブジェクト→2Dオブジェクトを効率よく作成可能
- 3Dオブジェクトを「押し出し」で作成、3Dオブジェクトから「断面図」「外形図」を作成
- 躯体寸法線の一括作図、数値入力の操作性向上

UC-Draw Ver.8でのSXFの入出力は、OCFの「SXF対応ソフトウェア検定」認定を取得しています(カテゴリ:CAD/CC3、認証番号:11310050168)。



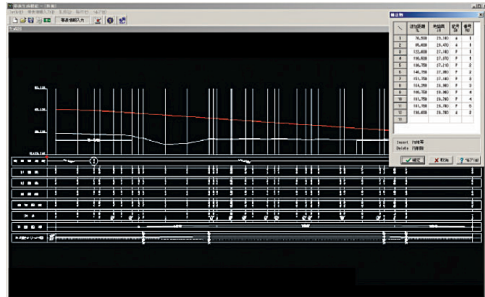
▼メイン画面



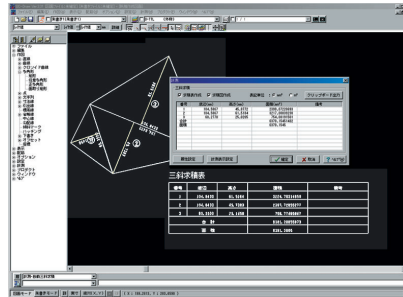
【配筋図作成が容易に行える配筋コマンド】

- 配筋関連（展開図）機能として、1枚の画面で複数の鉄筋が配筋できる機能
- 加工図・鉄筋表を作図・編集・管理する材料運動、配筋図の鉄筋記号一括変更が可能、UC-1設計シリーズ・UC-Draw®ツールズで作成した配筋図編集が可能
- 3D配筋ビュー、3DS形式、IFC形式、Allplan形式での保存可能
- 測量機能：拡張DM入出力を含む「測量」メニュー、「道路完成平面図」メニューをサポート
- 計測関連：求積図作成のための計算、円弧上の2点間の距離計測、計測結果は図面上への配置が可能

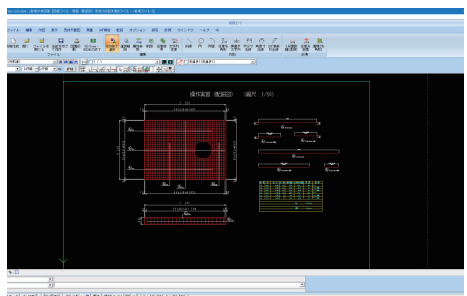
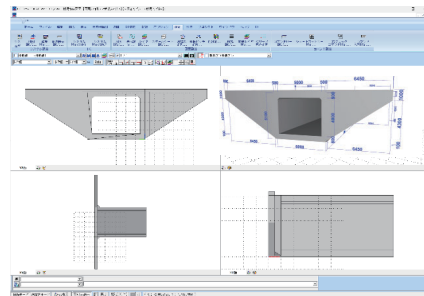
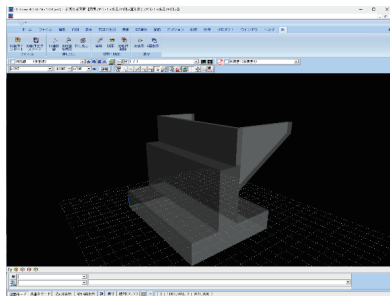
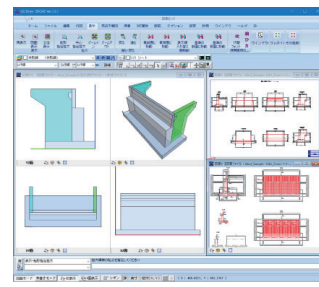
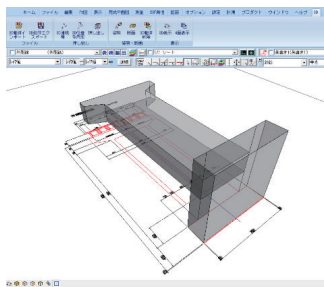
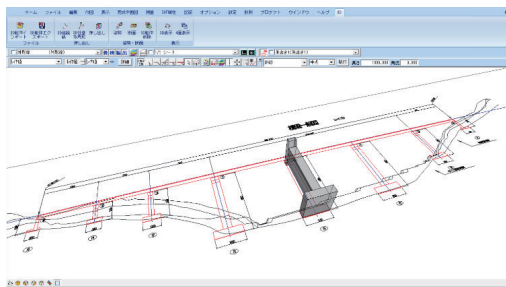
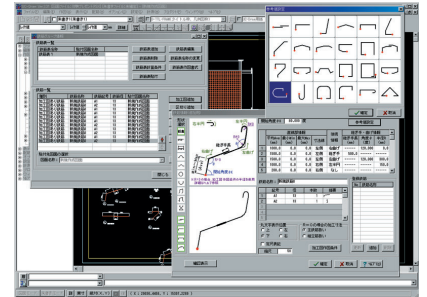
▼帯表作成



▼計測機能（自動三斜求積）



▼加工図／鉄筋表作成



3DCAD Studio®

CIMの3DモデリングをサポートするDWG連携ツール。
土木専用3次元CADエンジンを採用した3Dモデリングソフトウェア

プログラム価格
¥198,000
(税抜¥180,000)

Windows 10/11 対応

電子納品 3D PDF

IFC

体験セミナー

【3次元CADエンジン】

- 関西大学を中心に開発した3次元CADエンジンを利用
- 土木向けに必要な機能を調査・選定し計算処理をライブラリ化
- データ交換を考慮してISO10303に従ったデータ構造

【3次元モデルの作成】

- モデリングの流れは、2次元カーブ（線分や円等）をスイープ操作（押し出し、スイープ、回転）することにより、3次元形状を作成
- 作図可能な曲線として「線分（×4）・円・円弧・楕円・放物線・クロソイド」を用意
- 作成した形状に対し、編集操作（面取り、フィレット、オフセット）の処理を行うことも可能。これらの各操作を使用し、土木構造物の表現が可能

- スイープのもととなった2次元形状や、作成・編集操作の履歴が残っているため、2次元形状や操作パラメータを変更することにより、形状の編集が可能

【主な機能】

- 線分、円、円弧、楕円、放物線、クロソイド、ポリラインの作図
- 2次元平面上に作図した曲線を、押し出し、回転、スイープした3次元形状の作成
- 作成した3次元形状に対して、レイヤー、マテリアル等の設定

【データ連携】

- IFC、DXF、DWGの入力、DWG、3DSファイルの出力が可能
- UC-win/Road連携対応、モデルリンクも可能

